



新たなマーケット開拓へ向けて アズジェントは常に一步先の動きを見つめています



必要なもの、それは次のニーズを読み取る確かな目

われわれの想像を遥かに超えたスピードで、グローバルに進行する情報化社会。とりわけインターネットは驚異的な速度で普及し、広がりを続けています。アズジェントはインターネット社会におけるセキュリティの重要性に注目し、「Check Point VPN-1」(FireWall-1)を初めとする様々な商品を提供してきました。また、アズジェントが設立以来、他社に先駆けて注力してきたISMS等(情報セキュリティマネジメントシステム)構築・運用ツール「M@gicPolicy」が個人情報保護、ISMSの普及、金融商品取引法の改正等を背景に注目を集めています。電話通信とインターネットが融合され、音声、画像、アプリケーションがインターネット上でやり取りできる今日、様々な方面でますますセキュリティは重要となってきています。アズジェントは、次のニーズ、そして新たなマーケット開拓に向けて次々と着実な戦略を打ち出していきます。



激に進化するITの多様な課題に応えるアズジェント

ITや情報環境の激進な進化により、ネットワークに関わるあらゆる場面で新しいソリューションが求められています。セキュリティ対策をはじめ、情報資産の有効運用、情報社会に対応したマネジメント等—多様なニーズに応えるために、アズジェントはセキュリティ分野を核とし、ITの次なるグローバルスタンダードを見据えた様々な戦略を展開し続けています。確かな視点に基づいたマーケット開拓が、IT分野におけるアズジェントの地位をゆるぎないものにしていくのです。

アズジェントのビジネスモデル

■ 「生涯利益」という商品戦略に基づいたビジネス展開

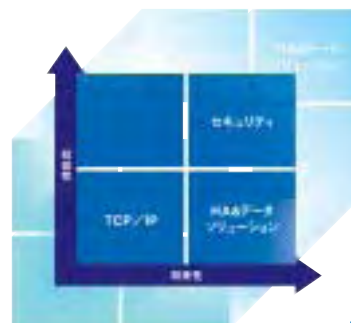
赤ちゃんには粉ミルク、小学生になればランドセル...というように成長過程の段階で人が求めるモノは異なります。各段階ごとのニーズに応える商品を提供することができれば、一人の顧客に対し、その一生涯を通じてビジネスが成り立つ—アズジェントが商品戦略の基本に据えている「生涯利益(ライフタイムプロフィット)」という考え方です。企業ユーザのニーズを的確に先取りした商品・サービスを提供することにより継続的な顧客を獲得し、信頼を築いていく「生涯利益」というビジネスモデルは変化の激しいインターネット分野においてこそ成り立つ商品戦略です。



生涯利益の考え方

■ 次のマーケットを切り拓く「3Dシナジー戦略」

アズジェントは、セキュリティというセグメントを超えてハイアベイラビリティ、データソリューションなどの商品を一早く市場に導入してきました。迅速なマーケット開拓を可能にしているのが売れ筋商品と戦略的な関連付けを行うことにより新商品を導入する「3Dシナジー」戦略です。アズジェントは戦略的発想によりマーケットリーダーとしての位置を確立しています。



3Dシナジー戦略



事業内容

— セキュリティ・プロダクツ・ソリューション



要なものを多面的に提供するパッケージドソリューション

アズジェントは、設立以来一貫して情報セキュリティの分野に特化し、取り組んできました。常に世界の技術動向に目を向け、市場のトレンドを捉えながら、まだ日本国内に知れ渡っていない商品を見つけだし、最適な商品を選び出します。そして、当社の技術力を付加し、エンドユーザのニーズや課題を解決するためのソリューションとして提供してきました。

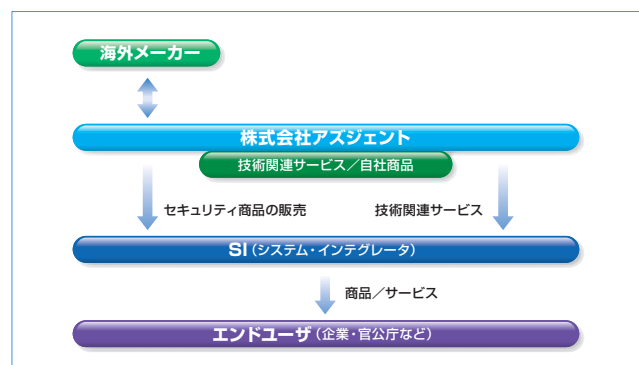
実際、当社の販売実績は開発元からも高い評価を受け、設立以来数々のアワードを受賞しています。特に「Check Point IP アプライアンス」をはじめとするチェック・ポイント社製の UTM(統合脅威管理)ソリューションにおいては、国内で No.1 の販売実績を誇っています。



パッケージ型商品を販売するための強力な支援体制

アズジェントはエンドユーザ企業への直接販売ではなく、SI (システム・インテグレータ) パートナーを通じて販売する間接販売の形態をとっています。アズジェントでは、パートナーの皆様が効率的に商品を販売していただくため、様々なバックアップ活動を行っています。

- セミナーの開催
- 技術トレーニングの開催
- エージェントサービスの提供 等





事業内容

セキュリティポリシー・ソリューション

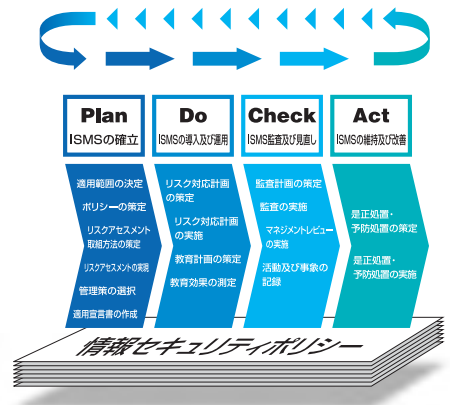
情報セキュリティマネジメントが組織の存続を左右する

コンピュータやネットワークが、生産性の向上、業務効率化の実現等に大きく貢献している今日、情報セキュリティが大きな課題となっています。個人情報をはじめとする様々な情報の漏洩、システム障害といった情報リスクが顕在化し、被害を被った企業も多数あります。これらの事件・事故の多くは、情報システム部等による単なる技術的な問題ではないところに起因しています。個人情報保護法（通称）の施行、情報セキュリティマネジメントシステム（ISMS）の要求事項の国際規格化（ISO/IEC 27001）など、組織は、情報リスクを組織の存続における最も重要なリスクの一つとして捉え、組織全体のマネジメントシステムとして対策を施していく必要があります。

セキュリティの設計図 M@gicPolicy

情報資産とそれらを取り巻く脅威や脆弱性からなる情報リスクを最小限にするための具体的な指針がセキュリティポリシーです。セキュリティポリシーは一度策定してしまえば終了するものではなく、取り巻く社会環境や技術等に応じて柔軟に変化していく必要があります。PDCAサイクル（Plan:計画、Do:実施、Check:点検、Act:処置）に従い、多面的かつ強度の強いセキュリティポリシーを実現することが重要です。

アズジェントは、セキュリティポリシーの必要性に着目し、設立当初より、ISMSを継続的に運用し、点検するための運用支援ツール「M@gicPolicyシリーズ」を開発してきました。「M@gicPolicyシリーズ」を利用することによって、マネジメントの観点からシステム障害、不正アクセス、情報漏洩など情報セキュリティに関わる事件、事故によるリスクを軽減することができます。



豊富なセミナー、トレーニング

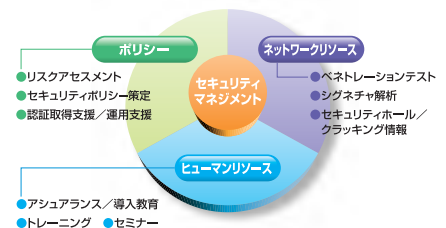
ISO/IEC 27000シリーズ、ISMS適合性評価制度など、ISMSに関わる全ての方々を対象としたセミナーやトレーニングを実施しています。

- ISO/IEC 27001対応情報セキュリティマネジメントシステム (ISMS) 審査員コース
- ISO/IEC 27001対応リスクアセスメントコース
- ISO/IEC 20000対応ITサービスマネジメントシステム (ITSMS) 審査員コース
- (ISC)²公式 CISSP[®]10ドメインレビューセミナー 等
- BS25999 Awarenessコース

最新情報は、<http://www.policyalliance.com/seminar/> をご覧ください

経験とノウハウをもとに適切なコンサルテーションサービスを実施

アズジェントは情報セキュリティのリーディングカンパニーとして、セキュリティポリシーの策定、運用支援はもちろん、ペネトレーションテスト（擬似侵入検査）、情報セキュリティ監査、BCM運用支援、認証取得支援（ISMS:ISO/IEC 27001、ISO/IEC 15408、プライバシーマーク、ISO/IEC 20000 等）など、様々なコンサルテーションサービスを提供しています。



CORPORATE PROFILE



Past & the Future



21世紀を迎えますますます加速するITレボリューション。私達アズジェントは、「自由、公平、柔軟かつ迅速」な環境の元、「責任、信頼、革新と結果」を具現化するグローバルな企業文化を目指します。インターネットをビジネスフィールドに、「オンリーワン」の価値創出を迫るアズジェント。グローバル基準を踏まえた視点から、私達ならではのビジネスモデルを推進し日本のITをリードしていきます。

代表取締役社長 杉本 隆洋

The World IT revolution accelerates as we enter the 21st Century. This revolution enables an increasing number of people to develop new concepts based upon free and fair innovation. Within our new environment, Asgent will become a global enterprise by emphasizing "responsibility and reliability" to bring Innovation and Profitability to the market. Asgent's ultimate goal is to always be in a class of our own by working within global standards to maintain our lead as one of the "outstanding" enterprises in the Internet business arena. Asgent will always be "One Step Ahead of the Game".

Takahiro (Shuji) Sugimoto, President & C.E.O.

会社概要 CORPORATE DATA

会社名 株式会社アズジェント (英文名: Asgent, Inc.)
 本社 〒104-0044 東京都中央区明石町6番4号
 PHONE: 03-6853-7401 (大代表)
 FACSIMILE: 03-6853-7411
 URL: <http://www.asgent.co.jp/>
 E-mail: info@asgent.co.jp
 設立 1997年11月10日
 資本金 7億7,111万円
 取引銀行 みずほ銀行
 三井住友銀行 他

株主 杉本 隆洋
 みずほ銀行
 みずほキャピタル 他
 役員 代表取締役社長: 杉本 隆洋
 取締役: 花澤 和美 與田 浩
 監査役: 宮野尾幸裕 鈴木 一郎 塩谷 一郎
 相談役 斎藤 潔

会社沿革 CORPORATE HISTORY

- | | |
|--|--|
| 1997年11月 東京都中央区に株式会社アズジェントを設立 | 2003年 7月 Check Point社より「Outstanding Sales VASP」受賞 |
| 1999年 3月 富士ニュービジネス育成基金より助成金獲得 | 2004年 5月 情報セキュリティマネジメントシステム構築・運用管理ツール「M@gicPolicyCoSMO」販売開始 |
| 1999年 3月 通産省より平成10年度第3次補正予算「情報ベンチャー事業化支援ソフトウェア等開発事業」獲得 | 2004年 8月 Check Point社より「Top Performing Partner」受賞 |
| 1999年 5月 情報処理振興事業協会より平成11年度「情報セキュリティ研究開発テーマ」獲得 | 2005年 7月 Check Point社より「Complete Solution Provider」受賞 |
| 2000年 3月 中小企業総合事業団より「平成11年度新事業開拓助成金」獲得 | 2005年10月 セキュリティのプロフェッショナルを育成するための教育プログラム「(ISC)²公式CISSP®10ドメインレビューセミナー」開始 |
| 2000年 3月 東海ニューフロンティア企業育成基金より助成金獲得 | 2006年 5月 Nokia社より「Japan Top Revenue Achievement Partner for Five Consecutive Year」受賞 |
| 2000年 6月 セキュリティポリシー・アライアンスを設立
セキュリティポリシー構築標準化ツール「M@gicPolicy」を提供 | 2008年 9月 Check Point社より「Best Solution Partner」受賞 |
| 2000年11月 Nokia社より「Top Revenue Achievement APAC」受賞 | 2009年 2月 Nokia社より「Top Revenue 2008」受賞 |
| 2001年 2月 BSI (英国規格協会) ジャパンと「BS7799リードオーディターコース」開始 | 2009年 7月 Check Point社より「Distributor Awards 2008」受賞 |
| 2001年 3月 Ted Humphreys (ISO/IEC JTC1/SC27 Chairman) と「BS7799リスクアセスメントコース」開始 | 2009年12月 HP社より「Partner Excellence Award」受賞 |
| 2001年 4月 Nokia社より「Most Committed Channel Partner of the Year Asia Pacific 2000」受賞 | 2009年12月 Check Point社より「Most Outstanding Partner」受賞 |
| 2001年 7月 ジャスダック (店頭) 上場 | 2011年 2月 Solace Systems社とSolace Message Routerの販売を加速させることに合意 |
| 2002年 4月 Nokia社より「Distributor of the Year Asia Pacific 2001」受賞 | 2011年 8月 Check Point社より「Distributor of the Year 2010」受賞 |
| 2002年 8月 Check Point社より「Outstanding VASP」受賞 | 2011年10月 Check Point社UTM製品を使用したマネージドサービスを開始 |
| 2002年10月 リスクアセスメントツール「RAソフトウェアツール」販売開始 | 2012年 1月 本社を中央区明石町に移転 |
| 2003年 7月 情報セキュリティマネジメントシステム (ISMS) の国際的な標準規格「BS7799-2:2002」および国内の標準規格である「ISMS適合性評価制度」の「ISMS認証基準 (Ver.2.0)」の認証を取得 | |

記載の内容は2012年1月現在のものです。